

患者さんへ

「関節窩骨欠損を伴う肩関節不安定症に対する関節鏡下人工骨移植の有用性」に関する臨床研究について

1. はじめに

臨床研究とは、より良い診断や治療のために医学的なデータを得る研究のことを言います。この研究は、通常診療のなかで集める情報をもとに医師が自主的に行う調査研究です。

2. 研究について

・目的：関節窩骨欠損を伴う肩関節不安定症の患者さんを対象として行っている関節窩骨欠損部への関節鏡下人工骨移植の有効性および安全性を調査するものです。

・内容：肩関節不安定症に対して破たんした安定化機構を修復する関節鏡下関節唇形成術は本邦でもっとも一般的に行われている治療法ですが、術後10%前後の不安定性再発が報告されています。その再発危険因子の代表的なものが関節窩の骨欠損です。当院では関節窩骨欠損に対して関節鏡下人工骨移植を行っています。この研究は人工骨移植により得られる情報（術後再発率の低下など）を、医師が収集し調査研究します。

・研究予定期間：2015年7月から5年間

・研究組織：星ヶ丘医療センター整形外科肩関節グループが主体となり研究を実施します。

3. プライバシーの保護

この研究結果は学会や医学雑誌などで報告する予定ですが、個人が特定できないように配慮し、あなたのお名前が明らかになったり、個人が特定されるようなことはありません。

4. 研究への参加について

対象者には担当医から口頭で参加の依頼があります。情報を研究に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく担当医師にお伝えください。なお、この研究は通常診療の中で行うものであり、研究へ参加するしないによって治療内容や検査内容が変わるものではありません。

5. 担当医師への連絡

この研究について、わからないことや心配なことがあれば、いつでも遠慮なく、担当医師に申し出てください。

担当診療科： 星ヶ丘医療センター 整形外科

担当医師名： 山田 真一

連絡先電話番号： 072-840-2641